日本語の授業にラッパーがやってきました

【令和5年11月9日・10日】

学校設定科目「日本語」の授業に、ラッパー/詩人のFUNIさんがやってきました。

FUNIさんは川崎市出身。NHK「ハングル講座」でもラップ講師を務められるなど、これまでも多文化共生に関わる分野で活躍してこられました。今回のワークショップは、自己表現に主眼を置いている本校の日本語の授業に、生きるために必要な言葉を追求しておられるFUNIさんに来ていただき、ラップを通じて言葉や自己表現を考えようとするものでした。1年次生は9日、2・3年次生は10日の授業で実施しました。

自分の思いを言葉にして、それをラップで表現するという内容で、最初は恥ずかしがっていた生徒たちもFUNIさんの背中を押してもらえる指導に、次第に勇気をもって挑戦していました。

FUNIさんは「恥ずかしいと思うのは自分だけ。それが他人の勇気や希望になることもある。だから、勝手に決めつけずに行動しよう。」と話されました。

今回の経験が、今後の生徒たちの勇気になることを願っています。